

介護 なんでも 相談室



松永安優美 まつながあゆみ
栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

Q 千葉県の九十九里浜に近い田舎町に実家があります。いま年おいた77歳の父親が一人暮らしですが、ついに認知症で夜の徘徊が始まり、近所の人も手を焼くようになってきました。一人息子の私が引き取るのが筋ですが、東京の自宅マンションは狭く、家族も同居は嫌がっています。かといって、高額の施設に入れてやる余裕はありません。この際、千葉の実家を売却し、その資金を父親の介護施設費用に充てるつもりです。ネットで調べると、実家の不動産価値は800万円ほどです。父親の介護施設代が仮に月額20万円としても、3年間はもちそうです。この資金だと、どんな施設選びをすればいいのでしょうか？



A 最初に、実家で認知症の診断をして売却のことをもらい、入院できるかどうか話しますね。同うか相談してください。じような事情の方を何人専門棟があれば、入院がも知っています。現実可能ですが、それが無理で問題として、地方の古家あれば、実家近くの特別はなかなか売却できません。養護老人ホームを探すこと。温泉や観光名所が近いです。最近では地方でもいとか、若者による村おこしを進めているなど、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）が増えて付加価値がある土地ならある。特養は比較的小ともかく、一般的な古家早く入居できますし、おは「ないもの」と考えた父さんのように同居老人の方がいいでしょう。テレビの場合はさらに入りやす。ビなどでは、田舎の古民家といえます。

家がちょっとしたブーム。また一人暮らしのお父さんのように扱われています。父さんの収入が国民年金だが、それは例外中の例外。軽減制度も、実際は売りに出している。介護4〜5であっても買い手がつかないし、特養にかかる費用は価格も想像以上の値引き。一般的に5万〜6万円です。が条件になります。

ですから、実家売却のこの方法でしたら、おこと、お父さんの介護父さんの安全が守られ、問題は別に考えるべきで相談者の負担も増さず。徘徊が始まっていると思います。実家の処分というお父さんの症状については、その後で検討すると、早く施設探し、早く時間をかけて検討をするべきです。まず病